

# 令和5年度 第1回 大垣市図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和5年7月7日（金）14時～15時35分
- 2 開催場所 大垣市立図書館3階 会議室
- 3 出席者（委員）  
田村弘司会長、石橋豊之副会長、横山幸司委員、  
高木美保委員、近藤則朗委員、佐久間理恵委員、  
高木佐知子委員  
（事務局）  
細江教育長、平松教育委員会事務局長、橋本図書館長、  
大江図書館主幹、長瀬図書館主幹、早崎図書館主幹
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
  - (1)報告
    - ①図書館の概要について
    - ②令和4年度の事業報告について
    - ③令和5年度図書館の利用に関するアンケート調査結果の報告について
    - ④図書館エレベーター等改修工事について
  - (2)その他

## 1 開会 14:00

(事務局)

令和5年度 第1回 大垣市図書館協議会を開催する。

## 2 委員委嘱について

机上配布

## 3 あいさつ

(教育長)

本日は暑い中、図書館協議会にご出席いただき、お礼申し上げます。

今回は図書館協議会の委員を改選したが、継続して就任していただいた方も、新規に就任していただいた方も、図書館事業の充実のために多くの意見を賜りたいと思う。

新型コロナウイルス感染症が5類となり2か月が経過したが、社会はずいぶんコロナ禍以前の状況に戻ってきているのを実感する。マスクを外している人も多く、観光地へ行くと賑わいが戻ってきており、アフターコロナの様相を呈している雰囲気である。

図書館においても、コロナ禍により多くの事業が実施できない時期があったが、昨年度から少しずつ事業を再開している。閲覧席の数を戻したり、お話の会の開催回数も戻しつつある。

一方、コロナ禍により始めた新たな方法として、歴史講座等で実施している会場とオンライン併用によるハイブリッド形式での講座は、今年度も継続開催しており、多くの方々に受講してもらっている。

本日は「令和4年度の事業報告」と「令和5年度の図書館の利用に関するアンケート調査結果の報告」などについて報告し、委員の皆様から忌憚のない様々なご意見をいただき、今後の図書館運営に活かしていきたい。

## 4 会長の選任について

委員の互選により、田村委員を会長に選出。

↓

(会長あいさつ)

委員の皆様、2年間どうぞよろしく申し上げます。

コロナに関する報道が減ったこともあり、先ほど教育長も言及されたように、コロナが収束したような印象を受けるが、小中学校の近くを通ると、以前よりも子どもたちの元気な声が聞こえてくるような気がするし、子どもたちが普通の生活ができるようになったのは良いことだと思う。

コロナ禍の3年間で様々な行事の制約があったが、完全に元に戻すのではなく、新しい考え方や様式なども学校行事に取り入れていけば良いのではないかなと思う。

話は変わるが、新聞の発行部数が激減しているらしい。2002年には約5,319万8,000部だった発行部数が、2022年は約3,084万6,600部となり、20年前の58%程度に減っていて、新聞を購読していない教員もいるようである。今は新聞以外でも情報が得られるし、子どもたちもタブレット端末を持つ時代だが、世界を取り巻くフェイクニュースなどを見ると、ネットからの情報のみではなく、新聞も活用しながら、正しく情報を読み取り判断できる子どもたちを育てていきたい。

そうした点で、図書館では様々な新聞が閲覧できるし、子どもたちは学校図書館で新聞を読んでもらいたいため、学校図書館の充実について配慮していただけるとありがたい。

この図書館協議会では、委員の皆様から様々な意見を賜り、それを図書館が真摯に受け止め、改善・対策をしてもらっているので、今後も引き続き忌憚のない意見をいただきたいと思う。

## 5 副会長の選任について

会長に就任した田村委員が、石橋委員を副会長に指名。

## 6 報告事項(1) 図書館の概要について

↓

(各委員) 質疑なし

## 7 報告事項(2) 令和4年度の事業報告について

↓

(委員)

読み聞かせの回数が増えたことも良いし、児童閲覧室で読み聞かせを再開したことにより、本を探しながらでも朗読を聞けることになったので、多くの方に喜んでいただけたのではないかな。

(会長)

オンライン併用による講座の開催は、より多くの方々に受講していただけるようになり、良かったと思う。

(委員)

福祉資料(点字図書等)の蔵書数や収集の推移はどのようになっているか。

**（事務局）**

『令和5年度 図書館要覧』に、令和5年3月31日現在の福祉資料の蔵書数を掲載している。前年度と比較すると、大活字本は1,888冊から1,920冊へ、点字図書は618冊から634冊へ増加している。

**（会長）**

アクアウォーク大垣内の市民サービスセンターに図書返却ポストが設置され、そこを利用できるのは便利である。利用者も多いのではないか。

**（事務局）**

図書返却ポストを設置している駅北市民サービスセンターへは週に3日（月・水・金）、返却本の回収を行っており、平均して1日あたり40～50冊であるが、多いときは100冊以上の返却本がある。特に休日明けなどは、返却冊数が多い状況となっている。

**（委員）**

広報活動について、広報誌を各800部発行され、図書館のほか市民サービスセンターや地区センターに配布されているが、図書館の行事や活動を広く市民の方に知ってもらうためには、発行部数をさらに増やし、各家庭に回覧できるようにすれば、図書館がより親しみやすくなり、広く周知できる。

**（会長）**

広報誌の件については、以前も図書館協議会において意見が出されたことがある。誰もが情報端末を使ってホームページを見るわけではないため、800部は確かに少ない気もする。各家庭で図書館広報誌の回覧が実現するには、発行部数が相当必要になるのか。

**（事務局）**

各家庭に図書館の広報誌を回覧するには、相当な発行部数と予算措置が必要となるが、以前『広報おおがき』で図書館の特集記事を組んでPRしたことがあり、そうした情報発信も一つの方法である。（※令和3年2月15日号の『広報おおがき』に図書館の特集記事を掲載した）

**（会長）**

図書館で多くのサービスや事業に取り組んでいることは、我々委員のように説明を受けたり、図書館をよく利用する人や興味のある人には伝わっているが、

一般市民までは十分に浸透せず、もったいない気がする。

**(事務局)**

講座については、毎回『広報おおがき』に掲載して受講者を募集をしており、市川里美さんの絵本紹介についても毎月、コーナーをもらって紹介している。通常の図書館サービスのPRは、機会を捉えて広報の方法を探っていきたい。

**8 報告事項(3) 令和5年度図書館の利用に関するアンケート調査報告結果について**

※スイトピアセンター駐車場の運用方法等の見直しについても説明

↓

**(会長)**

図書館協議会においても議論されてきた駐車場の運用方法等が見直されるのは大きな前進であり、図書館の利用者にとってはサービスの向上につながり、ありがたいことである。

**備考：スイトピアセンター駐車場の運用方法の変更点**

- ◇精算方式の変更…入庫時精算方式から出庫時精算方式に変更し、  
完全機械化
- ◇無料時間の変更…無料時間を一律2時間まで延長
- ◇運用開始日……………令和6年10月（予定）

**(副会長)**

ベストセラー本の蔵書に対する意見が出ているが、予約の多い本はどの位の件数なのか。図書館によっては、1,000件を超える本もあると聞いている。

**(事務局)**

予約件数は本により差があるが、中には2年近く待つ人もいる。

**(副会長)**

現在、書架の余裕はどの程度あるのか。ベストセラー本が読まれなくなった後、廃棄やリサイクルに出されたりすることにより、図書館が批判されることがあるが、どのような扱いをしているのか。

**(事務局)**

書架については余裕がないため、古い本を毎年除籍し、スペースを確保して

いる。書架を追加購入して対応する場合もある。ベストセラー本については、多く購入していた時代もあったが、2年も経てば希望者すべてに行き渡ることや、廃棄対象となる本を減らすため、現在は購入冊数を5冊としている。また、年に2回、リサイクルフェアを開催し、情報が古くなった旅行のガイドブックや料理本、生活情報に密着した本のほか、保管期間（2年間）が経過した雑誌などを無償提供している。料理本など人気のあるジャンルについては、すぐになくなってしまう。

#### （委員）

「読書メーター」はどれくらいの利用があるのか。読書履歴を残したい人は一定数いると思われるが、専用サイトへのログインが必要だったり、少し複雑でハードルが高いため、簡単に読書記録を残す方法があればいいと思う。全員の履歴を残すのは大変かと思うが、図書館ホームページを改変するのであれば、そのあたりも配慮してもらえるとありがたい。

#### （事務局）

「読書メーター」は民間が運営するサイトであり、利用者数はわからない。一方、読書履歴を紙媒体で残す方法として「読書手帳（大人向け）」と「読書ノート（子ども向け）」を作成し、1Fカウンターで希望者に配付している。利用者の貸出履歴を残すことは、誰がどのような本を読んだかという個人情報を残すことになるため、貸出履歴を残していない。

#### （委員）

墨俣小学校の学校図書館へ訪問する機会があり、墨俣図書館との連携により児童の読書量が増えたと聞き、自分の学校でもできればいいなと思っている。青墓小学校は市立図書館までの距離があり、保護者が図書館に興味があればなかなか行く機会もないが、中には毎週通っているという子もいる。市立図書館には多くの蔵書があることを知ったり、より多くの児童が図書館へ足を運んでもらえるよう、私たち教員も努力していく必要がある。

前回の図書館協議会で、お楽しみ袋の貸出をしていただけると聞いたので、先日の図書館教育部会では、各学校で連携しようと話をしておいたので、秋頃に各学校から依頼があると思われる。

#### （会長）

社会見学等で市内の図書館や文化施設へ行く学校もあるのだろうか。

(委員)

小学校2年生は、生活科で「大垣を知ろう」と図書館見学があるため、図書館の存在は知っていると思うが、自分で図書館へ行けないのが課題である。

(委員)

小学校の児童を含めて、学習館へは多くの方が行かれると思うが、図書館も利用されているのだろうか。

(事務局)

学習館で行事がある時や土日は、家族連れの方が多く図書館へ来られ、図書館の利用カードを作る件数も多くなる。スイトピアセンターで行事があって、その時に図書館へも寄るという相乗効果はあると思われる。

(会長)

岐阜県図書館の存在を知らない、あるいは利用したことがない県民は多いようだ。今は立派な岐阜市立図書館ができたが、それまでは岐阜県図書館が岐阜市立図書館のような存在で、大半の利用者が岐阜市民だった。岐阜県図書館のように便利な場所にあっても知らない人が多いが、大垣市立図書館は大垣市民の方に多く利用してもらいたいと思う。

## 8 報告事項(4) 図書館エレベーター等改修工事について

↓

(各委員) 質疑なし

閉会 15:35